

行政サービス

5月の日曜窓口

〔日時〕25日(日)午前9時～午後1時

〔開設窓口〕市民課・課税課・健康支援課保険年金係・子育て支援課手当助成係

※取扱業務や必要書類等は、事前に担当課にご確認ください。
〔問い合わせ〕政策室企画法担当

5月の夜間・日曜納税窓口の税の納め忘れはありませんか？

▽日曜納税窓口
〔日時〕25日(日)午前8時30分～午後5時

▽夜間納税窓口
〔日時〕29日(木)午後8時まで

〔会場〕納税課
なお、平成20年度固定資産税・都市計画税(第1期分)、軽自動車税(定期分)は、6月2日(月)までに納めてください。
※納付は便利で納め忘れのない口座振替をご利用ください。
〔問い合わせ〕納税課

自動交付機の休止

6月2日(月)は、保守点検のため終日利用できません。
〔問い合わせ〕市民課

狛江市民ホールの指定管理者を公募します

狛江市が設置した狛江市民ホール(ECORMAホール)は、指定管理者制度により指定管理者が管理していますが、指定期

間が平成21年3月31日をもって終了するため、新たに施設の管理を行う法人等を公募します。
〔指定期間〕平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間

〔対象施設〕狛江市民ホール
〔選定方法〕提案型公募(プロポーザル方式)とし、書類審査後、「狛江市民ホール指定管理者選定委員会」が審査を行って候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定します。

〔応募書類の配布〕5月16日(金)から26日(月)まで地域活性化課で配布します。※市ホームページからもご覧になれます。
〔現地見学会〕5月29日(木)午前9時から狛江市民ホール4階ホワイエ集合。応募される場合は、ご参加ください(各団体2人まで)。

〔申し込み・問い合わせ〕5月19日(月)から6月27日(金)までに指定の提出書類を地域活性化課市民文化係へ。
〔申し込み・問い合わせ〕5月19日(月)から6月27日(金)までに指定の提出書類を地域活性化課市民文化係へ。

狛江市民福祉推進委員を公募します

福祉計画の策定および改定、市民福祉の推進およびその調整に係る重要事項に関することなどについて、調査・審議・報告するとともに、必要な意見を述べることが出来る機関です。

〔対象〕20歳以上の市内在住・在勤者で、市内の福祉推進に関心のある方
〔募集人員〕5人以内
〔任期〕平成22年6月まで

〔会議〕原則平日夜間(年3回程度を予定)

〔申し込み・問い合わせ〕6月2日(月)までに論文「福祉について」(健康・高齢・児童・障害のうち一つを選択)を福祉サービス支援室総合調整担当へ。

裁定請求書の事前送付を行っています

社会保険庁では、皆さんの年金加入記録を基に受給資格の確認を行い、60歳で受給権が発生する方(老齢基礎年金の受給資格を満たし、厚生年金の加入期間が12カ月以上ある方)には60歳に達する3カ月前に、65歳で受給権が発生する方および60歳から64歳の方ですでに受給権が発生しているが未請求である方には、65歳に達する3カ月前に裁定請求書を送付しています。

年金の請求は、誕生日の前日からできますので、裁定請求書と同時に送付されるリーフレット「年金の手続きをされる皆様へ」に記載されている必要書類を用意の上、早めに年金の請求を行ってください。

付加年金を「存じですか」

国民年金には、月々の定額の保険料に400円(付加保険料)を加えて納付することで、老齢基礎年金に上乗せして給付を受けられる付加年金があります。

付加年金の受給額は、200円×付加保険料納付月数として計算されますので、例えば、10カ月付加保険料を納付すると、

年額2,000円(200円×10カ月)が付加年金として支給されます。

付加年金は、国民年金第1号被保険者(保険料の免除を受けている方および国民年金基金加入者を除く)のみ、申し込みができます。

なお、付加保険料は、申し込みをした月分からの納付となりますので、希望する方は、早めに健康支援課保険年金係で手続きをしてください。

〔問い合わせ〕府中社会保険事務所 ☎042(361)101

学生納付特例、若年者納付猶予制度をご利用ください

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。

本人の前年の収入が一定額以下の学生の方は、保険料の納付が猶予される「学生納付特例」があります。

また、30歳未満の方で、本人と配偶者の収入が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「若年者納付猶予制度」があります。

「検察審査会」を「存じですか」

交通事故、詐欺などの被害に遭ったのに、検察官がその事件を裁判にかけてくれない。

このような不服を持っている方のために「検察審査会」があります。費用は無料で、秘密は固く守られますので、気軽に相談ください。

検察審査会では、11人の審査員が審査に当たります。

審査員は、選挙権を持っている皆さんの中から「くじ」で選ばれます。あなたも審査員に選ばれるかもしれません。

審査員に選ばれたときには、国民の代表としてこの仕事に協力をお願いします。

〔問い合わせ〕八王子検察審査会事務局 ☎042(642)5195

審議会等の公開

〔日時〕5月20日(火)午後7時から

〔会場〕502・503会議室
〔問い合わせ〕政策室協働調整担当

〔日時〕6月1日(日)午後2時から2時間程度

〔会場〕狛江市役所小田急線高架下分室103・104会議室
〔問い合わせ〕都市整備課企画係



戦時下の女学生 成徳女子商業学校 第15回生の思い出より

昭和19年3月から、中学3年生以上の学徒動員が通年実施になった。そこで成徳女子商業学校でも4年生全員、狛江の東京航空計器、新宿の藤倉ゴム、経堂の東京ペローの3カ所に分かれての工場勤務。仕事はいろいろ軍需物資の生産である。そして週一回だけ登校することができたが、「大好きだった英語は、敵国語として(女学校では)学ぶことができなくなっていた」

「教室のガラスは(爆風で飛び散らないよう)みなテープが貼られていた」

狛江組は、朝は班ごとに「狛江駅前集合、隊伍を組んで工場の門に入る。『かしらあひだり!』と大きな声で号令を掛ける毎日」だった。

工場に入るとかなり高度な仕事が行っていた。「烏口で書く製の図のトレース……失敗ばかりで、同じ職場の方から『これでは消耗品艇身隊だね』といつもひやかされて二人は恐縮していた」

技術研究部でも「何の統計になるのか訳もわからず、毎日ソロバンをはじき、少々飽き飽き」

そのうちに「T工場で男子学生が事故で大怪我をしたといううわさが流れてきて、みなで心配した」こともあった。

モノのない時代、なんとこれも嬉しいのは食べ物だった。

「食料難の時代、会社からいただいた大きなおむすびが印象に残っている」「給食のオニギリ(ほとんど唐黍)をヒーターの網に乗せて焼いたりした。でも、「コーリヤンのおにぎりは体質にあわず、とても困りました。それが原因かどうかわかりませんが、脚気になり工場を時々休みました」など、食生活はきびしかった。

「先生が生徒の働き具合を見て廻る姿が窓から見ると、急いでプラスチックを温めたり、ピーカーを振ったりして働いている振りをしていてるところなど、やはり女学生である。」

11月になるといよいよ空襲が始まった。軍需工場はB29の爆撃目標だから「空襲警報が出る」と、近所のお寺に避難して機銃掃射の音に震えていた」

やがて3月、卒業式といっても卒業証書ももらわずに「証書をいただく」とすぐ、先生から、空襲警報が出ないうちにお帰りのなさい」とのこと。この年は4年生も一年早めての繰り上げ卒業だった。その後も「戦局は厳しく、生活が困窮する中、進学しないものは引き続き工場に行かなければならなかった」

8月15日には朝から重大放送があるという噂が流れていた。そこで全員「工場で終戦の放送を聞き」体中の力が抜けて呆然としたと同時に、ああもう空襲がなくなるんだと、ほっとしたこと

も覚えていきます」と。そして「正午解散になり」次の日から工場は休みになった。

井上 孝 (狛江市文化財専門委員)